

TOTO

小型電気温水器

湯ぽっと

品番 RES06/12/25型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、商品を正しく取り付けいただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

警告

 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
 禁止	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない 感電の原因になります。
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 感電・火災の原因になります。
 アース接続	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
 アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 必ず実行	漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。
	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する 段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

タンク内に水がないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

水道水以外は、通水しない
井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に強い力や衝撃を与えない
故障や水漏れの原因になります。



必ず実行

必ず湯水が混合できる先止め水栓を取り付ける
高温の湯が出てやけどの原因になります。

水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開け
バケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
「14.機器内の水抜き方法」を参照ください。
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

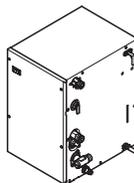
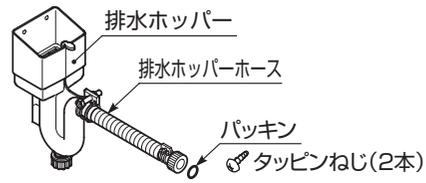
フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓
を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

おねがい

- 給水圧力は最低必要水圧（流動時）0.05MPa・最高水圧（静止時）0.75MPa です。
（自動水栓との接続の場合最低必要水圧（流動時）0.1MPa・最高水圧（静止時）0.75MPa です。）
この圧力の範囲内でご使用ください。
（0.05MPa 未満で使用すると流量が少なくなります。）
- 必ずフィルター付き止水栓（必要別売品）を取り付けてください。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
（銅管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。）
- 自動水栓と組み合わせて使用する場合は出湯量が少なくなる場合があります。
- シャワー水栓との組み合わせはできません。（十分なシャワー感が得られません）
- 取扱説明書の保証書に、取付店または販売店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。
- 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

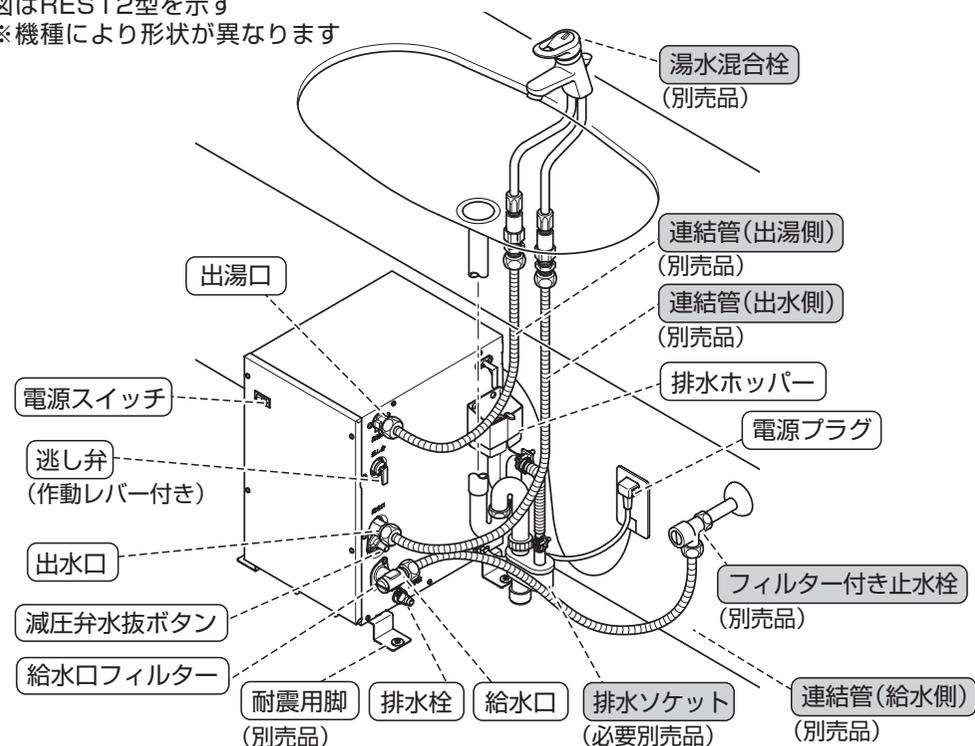
2 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体	②排水ホッパー
 <p>図はRES12型を示す。 ※機種により形状が異なります。</p>	 <p>排水ホッパー 排水ホッパーホース パッキン タッピンねじ(2本)</p>
③水抜きチューブ、取扱説明書（保証書付）、施工説明書、開閉工具、取付日表示ラベル	
     <p>L=300mm 取扱説明書 施工説明書(本紙) 開閉工具 お客様にお渡し ください 取付日表示ラベル</p>	

3 各部の名称

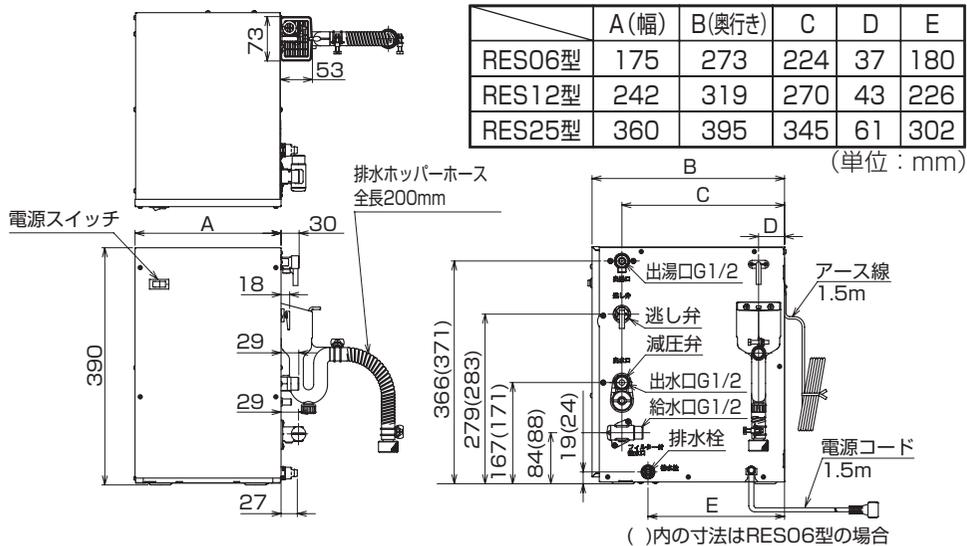
図はRES12型を示す
※機種により形状が異なります



4 仕様

機種	品番	RES06型	RES12型	RES25型
貯湯量		約6L	約12L	約25L
定格	電圧		AC100V	
	周波数		50/60Hz	
	消費電力		600W	
給水方式		先止め式		
出湯温度		約60℃		
沸き上げ温度		約60℃		
沸き上げ時間	入水温度15℃→60℃	約30分	約1時間	約2時間10分
主要部品	ヒーター	シーズヒーター		
	減圧弁	設定値：0.08MPa		
	逃し弁	吹始め圧力：0.095MPa/ 吹止まり圧力：0.087MPa以上		
安全装置	温度調節器	バイメタル式		
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル、温度ヒューズ		
商品寸法 (幅×奥行×高さ)		175mm×273mm×390mm	242mm×319mm×390mm	360mm×395mm×390mm
商品質量(満水時)		約6kg(約11kg)	約7kg(約19kg)	約10kg(約35kg)
電源コード・アース線長さ		1.5m		
使用条件	使用环境温度	1~40℃		
	使用水	水道水		
	使用水圧	最低必要水圧(流動時)：0.05MPa 最高水圧(静止時)：0.75MPa 自動水栓接続時 最低必要水圧(流動時)：0.10MPa 最高水圧(静止時)：0.75MPa		

5 寸法図



6 別売品一覧

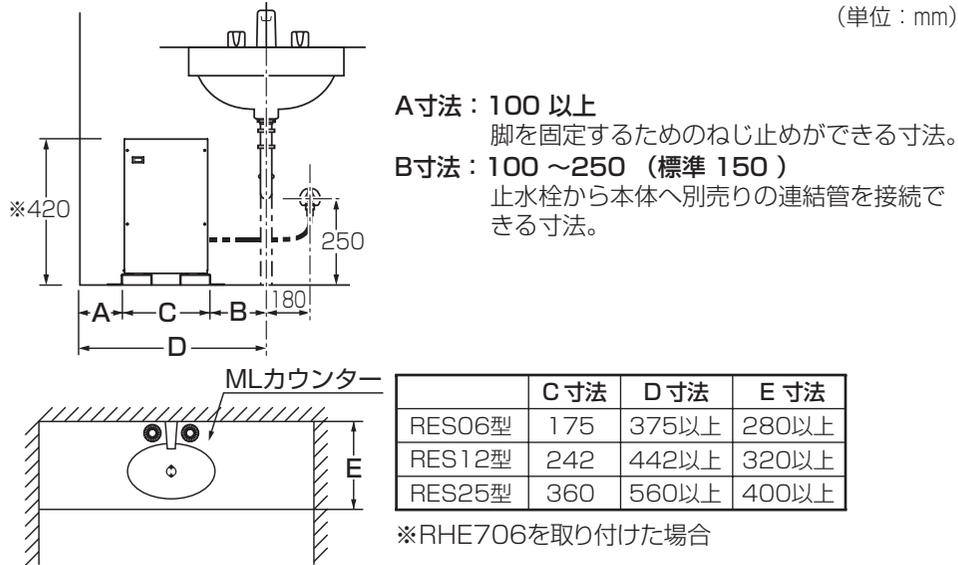
★は必要別売品です。

品名	形状	品番	備考
★排水ソケット		TH500DA	一般住宅用
		TH500D1	集合住宅用
連結管		RHE686	1穴シングルレバー混合栓(フレキホース仕様)を1個接続する場合(ステンレス仕様)
		TN65-8	2穴混合栓を1個接続する場合(銅管めっき仕様)
★アングル形止水栓		TL347CU	フィルター付 壁給水用
		TL347C1R	フィルター付 床給水用
湯ぽっと耐震用脚		RHE706	床用(床材質:コンクリート)
		RHE707	キッチン用(床材質:木)
		RHE708	洗面化粧台用(床材質:木)

※水に浸るおそれがある場合は、RHE706をご使用ください。

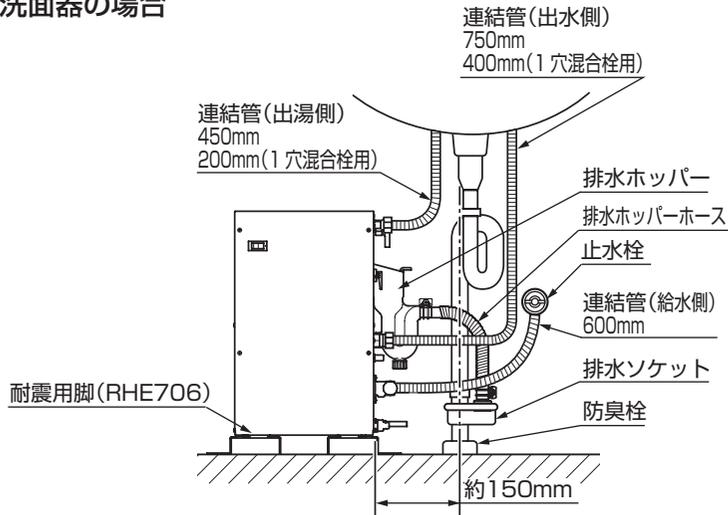
7 設置スペースの確認

施工およびメンテナンスのためのスペースを確保してください。



8 取付例

一般洗面器の場合



9 取付手順

警告



屋内用のため屋外には設置しない
感電や故障の原因になります。



水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない
感電や故障の原因になります。

満水質量が15kgを超える場合は、下記いずれかの方法で施工してください。

- ①丈夫な壁で囲うなどの転倒防止工事を現場で行う。
- ②弊社別売品（耐震用脚）を使用して施工する。

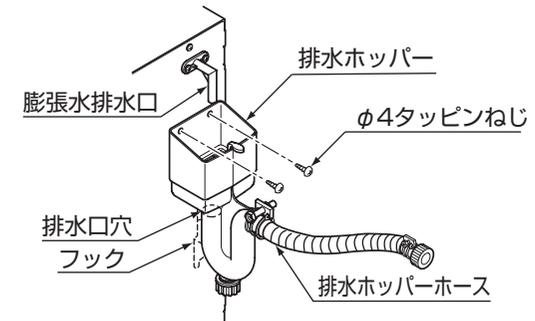
脚の取り付け ※耐震用脚（別売品）の取付方法は、耐震用脚の施工説明書をご覧ください。

排水ホッパーの取り付け

排水ホッパーのフックを電気温水器に差し込んでねじで固定する。

注意

膨張水排水口に排水ホッパー排水穴のセンターを必ずあわせて取り付けてください。

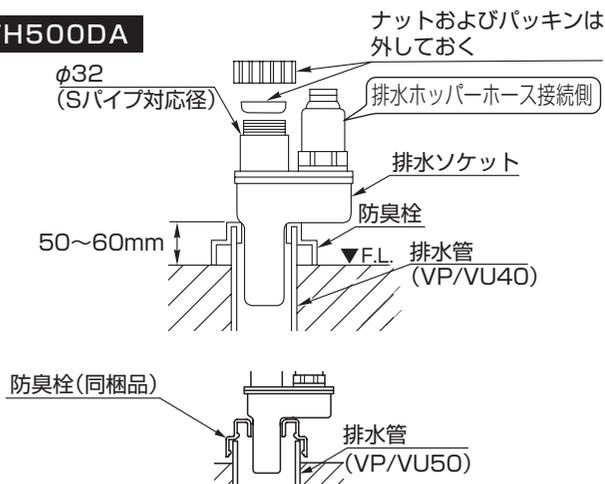


9 取付手順 (つづき)

1. 排水ソケットの接続

《一般住宅の場合》 別売品：TH500DA

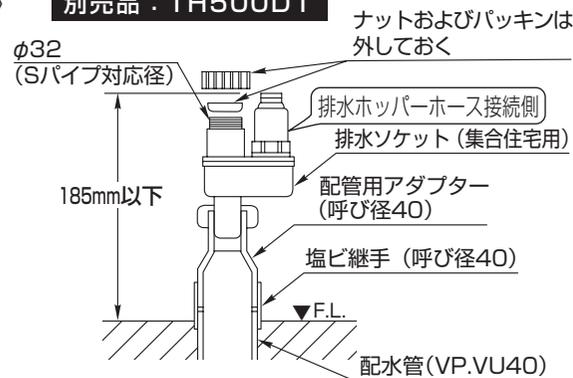
排水管に排水ソケットに付属の防臭栓をはめて排水ソケットを確実に差し込む。



《集合住宅(マンションなど)の場合》

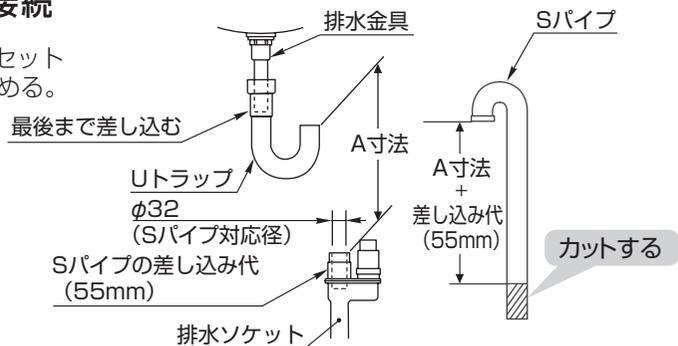
別売品：TH500D1

排水管に塩ビ継手を取り付け配管用アダプターを固定したあと、排水ソケットを確実に差し込む。
※別売りの排水ソケット(集合住宅用)を必ず使用してください。

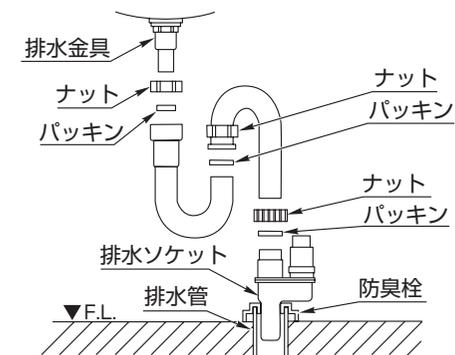


2. 排水トラップの接続

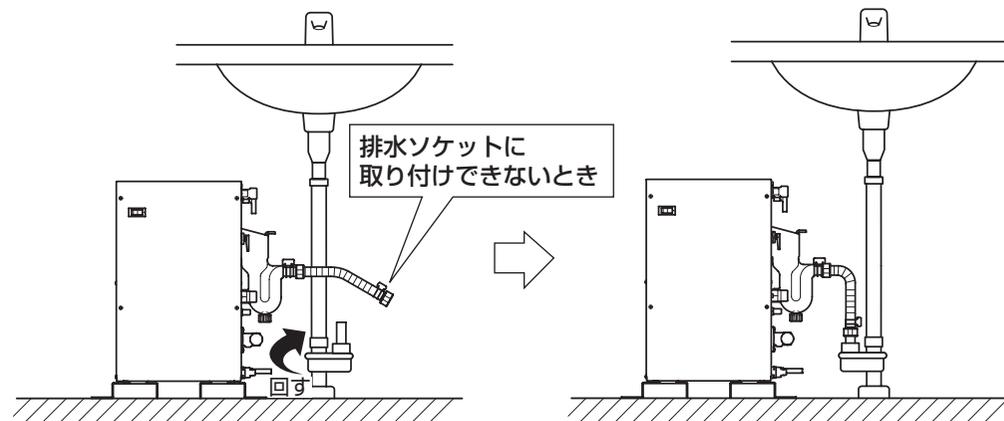
① Uトラップを排水金具にセットしてSパイプの長さを決める。



② Sパイプと排水ソケットを取り付ける。



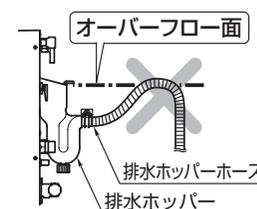
※排水ホッパーホースが短く排水ソケットに接続できない場合は、排水ソケットを回して取り付けができる位置で接続してください。



⚠ 注意



排水ホッパーホースは、排水ホッパーのオーバーフロー面よりも必ず低くなるように取り付けてください。
排水ホッパーから膨張水があふれ家屋に被害がおよぶおそれがあります。



施工したあとに通水させ、逃し弁レバーを全開にして排水ホッパーから水がオーバーフローしないことを確認してください。

10 連結管への取り付け

下図の要領で混合栓に連結管を取り付ける。

1穴混合栓に接続する場合

2穴混合栓に接続する場合

袋ナット締付専用治具 (別売品)

TZ15L (A寸法: 308)
TZY15N (A寸法: 192.5)

⚠ 注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯 (約20L) 程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

下図の要領で連結管を電気温水器本体および止水栓に取り付ける。
※混合栓に接続した連結管は、あらかじめ曲げておくと取り付けが容易に行えます。

注意 連結管は、極端に折らないでください。
R40以上

11 電気工事

⚠ 警告

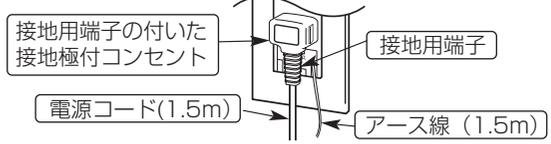
	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者 (電気工事士)」が行い、アース (D種接地工事100Ω以下) 工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。

1. コンセントの設置

- 電気温水器の消費電力は、600W (AC100V 50/60Hz) です。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 電気温水器の電源コードの長さは、1.5mです。電源コードの届く範囲内に既設のコンセントがなければ、専用のコンセントを設ける。

2. アース工事

- 電気温水器のアース線を接地用端子に必ず接続してください。



12 試運転

⚠ 注意



タンク内に水がないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

注意

機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合があります。

そのような場合は以下の操作を行ってください。

1) 逃し弁のレバーを立てて、膨張水排水口から1分ほど水を排出させ続けてください。

2) 逃し弁のレバーを元に戻して、水栓を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けられないことを確認してください。

(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1. 電気温水器への給水

① 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

② 同梱の開閉工具で止水栓を開ける。

※ 給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。

(湯からにおいがするおそれがあります)

③ 混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。

(シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にしてください)

④ 混合栓から水が出ることを確認し、混合栓を閉める。

(タンクが満水になると混合栓から水が出ます)

⑤ 配管接続部および排水トラップからの水漏れがないことを確認する。



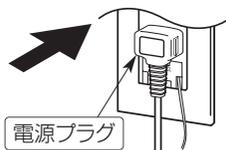
2. 電気温水器への通電

① 電源プラグをコンセントに差し込む。

② 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。

③ 電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

(電源スイッチを「切」にするとランプは、消灯します)



注意

止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。

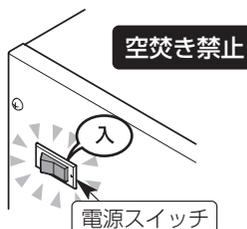
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。

(掃除の方法は、取扱説明書を参照してください)

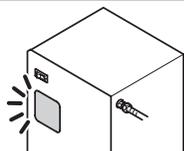
減圧弁・逃し弁は消耗品です。

劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。

必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。



※ 同梱されている取付日表示ラベルにお取付け日を記入し、商品本体の見やすい場所に貼り付けてください。



13 空焚きリセット方法

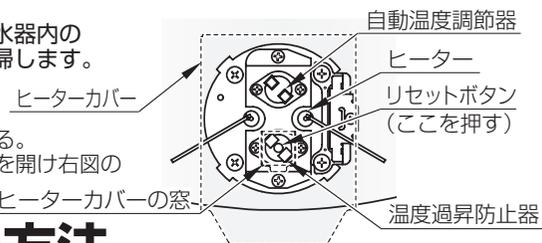
万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。

① 電源スイッチを「切」にする。

② 電源プラグを引き抜く。

③ タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる。

④ 前面パネルを取り外し、ヒーターカバーの窓を開け右図のリセットボタンを押す。



14 機器内の水抜き方法

⚠ 注意



凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。

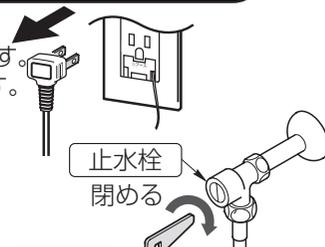
① 電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

② 混合栓の水側を開けたあとに、湯側を開け、湯が水になるまで出す。
(注) タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。

③ 同梱の開閉工具で止水栓を閉める。

④ 逃し弁の手動レバーを引き上げる。

⑤ 出湯口の水抜き栓を開け、連結管内の水を抜く。



注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑥ 電気温水器の排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回す。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

水抜き時間	6L	12L	25L
	約4分	約8分	約14分

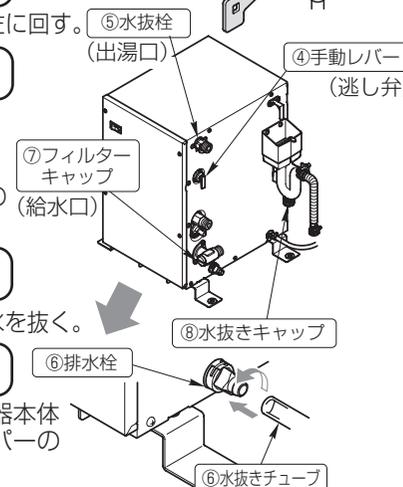
⑦ 同梱の開閉工具を使ってフィルターキャップを外し、減圧弁の水抜きボタンを押して配管内および減圧弁内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑧ 排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑨ 水抜きが完了したら逃し弁の手動レバーを元に戻し、機器本体の水抜き栓、フィルターキャップ、排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉め、水抜きチューブを取り外す。



配管の凍結予防

● 電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。

